

ふじみみ 7月号



(経営理念)

練馬区社会福祉事業団は、人権尊重を理念とし、地域で最も信頼され、喜ばれるサービスの提供を、効率的でバランスのとれた経営を持って行い、区民福祉の向上を図ります。

発行 富士見台デイサービスセンター

特別な梅雨と感染防止対策の継続

2021年も特別な梅雨入りとなりました。ワクチン接種が始まり、2回目の接種を終えられた方もいるのではないのでしょうか。しかし、まだ多くの区民の方が接種することができていない現状にあります。早期のワクチン接種を希望しますが、もう少し待つしかなさそうです。

日本は、従来型から変異したイギリス株に置き換わり感染者数が高止まりの状態が続いています。また、より感染力の強く重症化のスピードが速いインド株の流行も懸念されています。お客様、ご家族、職員一人ひとりの感染防止対策の継続が重要になりますので、引き続き以下のご協力をお願いします。



富士見台デイサービスセンターでは新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しています

- ご利用の朝にご自宅で検温していただき、発熱が認められる場合にはご利用を控えていただきます。感染力が強いといわれる変異株の流行も懸念されることから、感染症対策の強化として朝のお迎え時における検温を実施することにしました。送迎時の検温にもご協力ください。
- 感染拡大を最小限に抑えるため、お客様やご家族がPCR検査を受ける（受ける予定）の場合は、必ずセンターに連絡ください。
- マスクを使用してください。
- 梅雨になり除湿や冷房を使用する機会が増えてきます。感染症対策として1時間に1回10分程度の換気を行います。お部屋の温度変化がありますので上着や掛物をご持参ください。

6月の活動と富士見台デイ

感染防止対策を徹底しながら、毎日活動をしています。6月はステンシルや梅ジュース作りをはじめ、さまざまな活動をしました。皆様が少しでも笑顔で、より元気になる活動を今後も提供していきますので、楽しみにしててください。



ステンシル活動



紫陽花を描きました



梅ジュースづくり



富士見台デイサービスセンターからのお知らせ

7月中旬位に練馬区から「介護保険負担割合証」が届きます

【介護保険負担割合証とは？】

介護保険サービスを利用するときは、利用する方がサービス費用の1割から3割を負担し、残りの9割から7割を介護保険から給付します。

(平成30年度より、65歳以上で一定以上所得のある方のうち、所得の高い方の自己負担割合が3割になりました。)

負担割合証には利用者負担の割合が記載されており、介護保険サービスを利用する際に、介護保険被保険者証と一緒にサービス事業者や施設に提示するものです。介護保険被保険者証とともに大切に保管してください。負担割合証の有効期間は、通常8月1日から翌年の7月31日までの1年間で、毎年更新されます。8月以降に使用する新しい負担割合証は毎年7月中旬に送られてきます。



この部分を確認してください。
「介護保険負担割合証」の色は、市区町村によって様々です。

【Q&A】

Q: 「介護保険負担割合証」が届いたらどうすればよいの？」

A: 「介護保険負担割合証」には、1割負担か2割負担か3割負担かが記載されています。担当のケアマネジャー様に内容をお伝えください。

富士見台デイ5月ご利用状況について

令和3年5月の一般型デイサービスセンターをご利用のお客様は89名、認知症対応型デイサービスセンターをご利用のお客様は21名となっています。

【一般型(定員40名)】

利用率	平均介護度
76.6%(約30名/日)	2.3

1名の方が新たにご利用を開始されました。

【認知症対応型(定員12名)】

利用率	平均介護度
68.6%(約8名/日)	3.8

新規利用の方はいませんでした。

富士見台デイサービスセンターでは、毎月の活動の様子や機能訓練の情報をホームページのブログでもお知らせをしています。

富士見台デイ

検索